

令和4年度取組状況

ものづくり工学科 情報システム工学コース
教授 知念賢一

取組状況	
教育	<p>情報システム工学コースの新授業「情報システム基礎」では、学生に ICT の各種産業での位置付け、業種や職種などを調査してもらい、情報システム関連エンジニアの責任ややりがいを確認した。副作用として、日々の授業を離れて就職や進学の見積り材料の一部になることを期待している。</p> <p>専攻科情報工学プログラムの新授業「ネットワーク工学特論I」では、ネットワーク関連の英語文献 (RFCを中心とした) を参照、仕様に従ったプログラムを作る授業を実施した。履修生にはデモンストレーションを伴った作成プログラムのプレゼンテーションを課した。令和4年度は TELNET クライアントを題材とした。</p> <p>令和5年度以降に新規に実施する実験実習の方針検討会議に参加した。特に3年生の実験実習の具体的な内容や手順などを定めた。</p>
研究	<p>対外発表: 論文誌 1件、研究会予稿 1件</p> <ul style="list-style-type: none">・村本 衛一、河本 弘和、東島 勝義、古川 量也、澤井 薫、知念 賢一、篠田 陽一、三浦 基嗣: 「移動手段が選択可能な生活圏における自動運転電動車両の運行のサービス設計・評価手法の提案」, 情報処理学会論文誌コンシューマ・デバイス & システム (CDS), Vol.12, No.2, pp. 1-11, 情報処理学会, ISSN 2186-5728, 2022・榎本 真俊、知念 賢一: 「テストベッド上への再現可能なインターネットのネットワークポロジ作成手法の検討」, 信学技報 IN2022-66, Vol.122, No.407, pp. 7-10, 宜野湾+オンライン, 電子情報通信学会, 2023
社会貢献	情報処理学会、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会、各会員